

# JIS

ディーゼル機関－  
燃料噴射ポンプの取付寸法－  
第 2 部：平面座取付式列形ポンプ及び  
高圧サプライポンプ

JIS D 3603-2 : 2020

(JSAE)

令和 2 年 4 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	榎 徹雄	東京都市大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山田 陽滋	名古屋大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.5.20 改正：令和 2.4.20

官 報 掲 載 日：令和 2.4.20

原 案 作 成 者：公益社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 寸法及び許容差	2
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	13

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人自動車技術会 (JSAE) から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS D 3603-2:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS D 3603** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS D 3603-1** 第 1 部：円筒面座取付式列形ポンプ

**JIS D 3603-2** 第 2 部：平面座取付式列形ポンプ及び高圧サプライポンプ

**JIS D 3603-3** 第 3 部：端面フランジ取付け式燃料噴射ポンプのフランジ

**JIS D 3603-4** 第 4 部：端面フランジ取付け式高圧サプライポンプのフランジ

# ディーゼル機関—燃料噴射ポンプの取付寸法—

## 第2部：平面座取付式列形ポンプ及び 高圧サプライポンプ

Diesel engines—Mounting dimensions of fuel injection pumps—  
Part 2: Base-mounted in-line pumps and high-pressure supply pumps  
for common rail fuel injection systems

### 序文

この規格は、2018年に第5版として発行されたISO 7612を基に、日本独自の燃料噴射ポンプに関する規定を追加して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、ディーゼル機関に使用する平面座取付式列形燃料噴射ポンプ及びコモンレール燃料噴射システムの高圧サプライポンプ（以下、燃料噴射ポンプ及びサプライポンプを、ポンプという。）を機関に取り付けるために、取付互換性を確保するうえで必要な寸法に関する要求事項について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7612:2018, Diesel engines—Base-mounted in-line fuel injection pumps and high-pressure supply pumps for common rail fuel injection systems—Mounting dimensions (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS D 3608** ディーゼル機関—燃料噴射ポンプのカム軸端及びハブのテーパ部

**注記** 対応国際規格：ISO 6519, Diesel engines—Fuel injection pumps—Tapers for shaft ends and hubs (MOD)

### 3 用語及び定義

この規格には、定義する用語はない。